

日本私立大学協会
私立大学ガバナンス・コード＜第 2.0 版＞
「点検結果報告書」

共通様式

① 法人名称	学校法人別府大学
② 設置大学名称	別府大学、別府大学短期大学部
③ 担当部署	法人事務局総務部総務課
④ 問合せ先	0977-67-0101
⑤点検結果の確定日	令和 7 年 9 月 22 日
⑥点検結果の公表日	令和 7 年 9 月 22 日
⑦点検結果の掲載先 URL	https://www.beppu-u.ac.jp/general/publicinformation/
⑧本協会による公表	☒ 承諾する ☐ 否認する

【備考欄】

--

様式 I

I－I. 「基本原則」及び「原則」の遵守（実施）状況の点検結果

基本原則・原則	遵守状況
基本原則 1 自主性・自律性の確保（特色ある運営）	○
原則 1－1 建学の精神等の基本理念に基づく教学運営体制の確立	○
原則 1－2 中期的な計画の策定方針の明確化及び進捗管理	○
基本原則 2 公共性・社会性の確保（社会貢献）	○
原則 2－1 教育研究活動の成果の社会への還元	○
原則 2－2 多様性への対応	○
基本原則 3 安定性・継続性の確保（学校法人運営の基本）	○
原則 3－1 理事会の構成・運営方針の明確化	○
原則 3－2 監査機能の強化及び監事機能の実質化	○
原則 3－3 評議員会の構成・運営方針の明確化	○
原則 3－4 危機管理体制の確立	○
基本原則 4 透明性・信頼性の確保（情報公開）	○
原則 4－1 教育研究・経営に係る情報公開	○

I－II. 遵守（実施）していない「基本原則」の説明

該当する基本原則	説明

I－III. 遵守（実施）していない「原則」の説明

該当する原則	説明

様式Ⅱ

Ⅱ－Ⅰ．「原則」の遵守（実施）状況の判断に係る「実施項目」の取組状況

原則１－１ 建学の精神等の基本理念に基づく教学運営体制の確立

実施項目 １－１①	説明
建学の精神等の基本理念及び教育目的の明示	建学の精神等の基本理念及び教育目的を、学生をはじめとする多様なステークホルダーに対して明示しています。(URL: https://www.beppu-u.ac.jp/general/spirit/)
実施項目 １－１②	説明
「卒業認定・学位授与の方針」、「教育課程編成・実施の方針」及び「入学者受入れの方針」の実質化	学生等に対して入学から卒業に至るまでの学びの道筋を明確に示すとともに、自己点検・評価結果に基づき、教育の質の向上、学修環境・内容の整備・充実に努めています。
実施項目 １－１③	説明
教学組織の権限と役割の明確化	学長の責務（役割及び職務範囲）、学長の補佐体制（副学長・学部長・学長補佐の役割）及び教授会の役割（学長と教授会の関係）等、教学組織の権限と役割を明確にしています。
実施項目 １－１④	説明
教職協働体制の確保	教員と職員が、適切に分担・協力・連携を行うことを可能とする体制を確保し、教育研究活動の組織的かつ効果的な管理・運営に努めています。
実施項目 １－１⑤	説明
教職員の資質向上に係る取組みの基本方針・年次計画の策定及び推進	ファカルティ・ディベロップメント（FD）、スタッフ・ディベロップメント（SD）に係る基本方針・年次計画を策定し、教職員の資質向上に向けた研修を実施しています。

原則１－２ 中期的な計画の策定方針の明確化及び進捗管理

実施項目 １－２①	説明
中期的な計画の策定方針の明確化及び具体性のある計画の策定	各学校長、事務の管理職等から意見を聴取し、内外環境を踏まえて期間を５年に設定して、教学及び経営に関する中期計画を策定しています。また、年次ごとに具体的な取り組みや達成目標を設定した事業計画を策定しています。
実施項目 １－２②	説明
計画実現のための進捗管理	毎年度末に中期計画に係る当該年度の事業計画の取り組み状況や達成状況を把握して事業報告を作成し、計画実現のための進捗管理を行っています。

原則 2－1 教育研究活動の成果の社会への還元

実施項目 2－1①	説明
社会の要請に応える人材の育成	建学の精神に基づく人材育成とともに、地域の多様な社会人の受入れなど、社会の要請に応じた学びの機会を提供しています。
実施項目 2－1②	説明
社会貢献・地域連携の推進	環境への配慮をはじめとする社会課題への対応や産官学連携による地域課題の解決に向けた取組みなど、「知の拠点」としての大学の役割を果たすよう努めています。

原則 2－2 多様性への対応

実施項目 2－2①	説明
多様性を受容する体制の充実	性別、年齢、障害、国籍等、多様な背景を持つ学生、教職員等を受け入れる学内環境・体制の整備・充実に努めています。
実施項目 2－2②	説明
役員等への女性登用の配慮	男女共同参画社会への実現及び女性活躍促進の観点から、役員や評議員等への女性登用に配慮しています。

原則 3－1 理事会の構成・運営方針の明確化

実施項目 3－1①	説明
理事の人材確保方針の明確化及び選任過程の透明性の確保	寄附行為に基づき、理事の資格や責務を踏まえた適切な人材を確保し、選任過程の透明性を確保しています。
実施項目 3－1②	説明
理事会運営の透明性の確保及び評議員会との協働体制の確立	寄附行為に基づき、理事会の役割及び理事の責務を明確にするとともに、評議員会との建設的な協働と相互牽制体制を確立し、運営の透明性を確保しています。
実施項目 3－1③	説明
理事への情報提供・研修機会の充実	学校法人の適正な運営に当たり必要とされる識見を習得できるように、新任・外部を含む理事に対する情報提供・研修機会の充実に努めています。

原則 3－2 監査機能の強化及び監事機能の実質化

実施項目 3－2①	説明
監事及び会計監査人の選任基準の明確化及び選任過程の透明性の確保	監事及び会計監査人については、寄附行為に選任基準となる資格や職務等を定めるとともに、評議員会の決議により選任することなど選任過程を明確に定め、透明性を確保しています。

実施項目 3-2②	説明
監事、会計監査人及び内部監査室等の連携	学校法人別府大学監事監査等職務規程を制定し、監事の職責を明確にするとともに、会計監査人及び内部監査を行う企画・監査室と協力して調査を行うことを定めるなど、三者の適切な連携に努めています。
実施項目 3-2③	説明
監事への情報提供・研修機会の充実	監事が適切に職責を果たせるよう、監事を補佐する組織を置くとともに、監事への情報提供や研修機会の充実に努めています。

原則 3-3 評議員会の構成・運営方針の明確化

実施項目 3-3①	説明
評議員の選任方法や属性・構成割合についての考え方の明確化及び選任過程の透明性の確保	寄附行為により、評議員の属性に応じた評議員会構成上の上限割合の考え方を明確にするとともに、選任手続を明確に定め、選任過程の透明性を確保しています。
実施項目 3-3②	説明
評議員会運営の透明性の確保及び理事会との協働体制の確立	寄附行為により、評議員会の招集や議決事項、評議員の責務を明確にするとともに、理事会との建設的な協働と相互牽制体制を確立し、運営の透明性を確保しています。
実施項目 3-3③	説明
評議員への情報提供・研修機会の充実	学校法人の適正な運営に必要とされる識見を習得できるように、新任・外部を含む評議員に対する情報提供・研修機会の確保・充実に努めています。

原則 3-4 危機管理体制の確立

実施項目 3-4①	説明
危機管理マニュアルの整備及び事業継続計画の策定・活用	災害対策マニュアルを整備するとともに、市の避難施設への指定を受けるなど、防災の強化に取り組んでいます。令和4年度の新型コロナウイルス感染拡大に当たっては大学・短大の事業継続計画（BCP）を策定しています。
実施項目 3-4②	説明
法令等遵守のための体制整備	法令、寄附行為、その他諸規程を遵守するよう組織的に取り組むとともに、違反又はそのおそれがある行為に関する内部通報窓口の設置など、内部通報体制を整備しています。

原則 4－1 教育研究・経営に係る情報公開

実施項目 4－1①	説明
情報公開推進のための方針の策定	教育研究、組織運営、財務など大学・短大の諸活動全般に関する情報を、関係法令等に基づき、社会に対し積極的に公開するため、情報公開基本方針を策定し、情報公開を推進しています。
実施項目 4－1②	説明
ステークホルダーへの理解促進のための公開の工夫	ステークホルダーが公開情報にアクセスしやすいように、インターネットの情報公開ページに公開情報を集約して整理するとともに、理解しやすい資料作りに努めています。 (URL: https://www.beppu-u.ac.jp/general/publicinformation/)

Ⅱ－Ⅱ.「実施項目」に記載の内容とは異なる独自の方法により、「原則」を遵守していると判断した場合の取組内容

該当する原則	説明